

「今こそ憲法を暮らしに」

—学習会報告—

6月20日、せせらぎで「今こそ憲法を暮らしに」のテーマで、溝川悠介さんを迎えて、30名の参加者で、学習会を行いました。

2021/07/05 12:38

1、コロナ禍の中で世界と日本は

コロナ禍のパンデミックで、我々は歴史的な変わり目にいる。命を守り、地球を守る点でも、歴史的な変わり目にある。新自由主義による医療体制の脆弱化が医療崩壊を招き、世界でも経済格差が広がり、資本主義の矛盾が浮き彫りになった。

2、地球規模の課題(核兵器、原発、気候危機)

原発事故から10年、タンクに溜まった放射能汚染水の海洋放出を菅政府が決定。「すでに各国は海洋に放出している、日本は国際基準より厳しい基準で放出するので、安全」というが、トリチウム以外の放射性物質を含む汚染水の放出は危険。「危険が証明されないから安全」ではなく「安全が証明されないのは危険」である。

3 改憲の動き、市民と野党の共闘について

憲法を暮らしの隅々に生かすべき政府が、コロナ禍の混乱の中で、改憲準備を着々と進めている。「政治の最大の使命は、いのちと暮らしの選別を許さないことにある」の理念をもつ市民連合は、市民と立憲野党の共闘で野党連合政権を目指して、衆議院選挙での「野党統一候補の擁立を」の願いを、広げていこうと呼かけられました。

原発のアルプス処理水が、非常に汚染されていることは知りませんでした。それ以外のお話も丁寧に講演していただき、わかりやすかったです。

右左にかかわらず、多くの国民が反対しているオリンピックを強引に押し進めてしまう政府に「こんなやつたら、9条はひとまりもないと心底恐ろしいです。人類行き着くところまでいってしまったから、これではあかんと言うことで、コロナが登場したのかも、「脱成長」皆の幸せのためにも、そうかもしれない。目からウロコ!

参加者の感想
(アンケートより)

憲法9条の大切さはよくわかりませんが、この度のコロナ禍は、弱者の生活。ささやかな幸せを脅かし、命を奪う、憲法25条の大切さもひと感じます。
自衛権について、私は武器を持つことに反対。武器を持つという事は、使う場合があるということ、どんな理由があろうと使わないなら、持たないという事です。

11,608円!

会場カンパありがとうございました。今後もいろいろな取り組みをしていきたいと思っております

格差の問題は改めてそのひどさに驚きました。少しでも正せば、多くの人々が救われるのに。